

令和5年度 第2回多摩区支え合いのまちづくり推進会議 会議録

会議の概要

開催日時	令和5年8月7日（月）13時30分から15時00分まで		
開催場所	多摩市民館3階 大会議室		
出席者の氏名	委員	安陪修司（多摩区商店街連合会） 有北郁子（多摩区子ども総合支援連携会議） 岩田和可（多摩区地域自立支援協議会 北部基幹 相談支援センター） 内田由美子（川崎市多摩区社会福祉協議会 地域課） 大澤敏夫（川崎市多摩区社会福祉協議会 菅地区社会福祉協議会） 大津努（稲田地区社会福祉協議会）	和秀俊（田園調布学園大学） 木澤静雄（登戸地区社会福祉協議会） 岸忠宏（多摩区医師会） 小山富士子（多摩区子ども会連合会） 佐久間真弓（よみうりランド花ハウス 地域包括支援センター） 永仮都子（生田地区社会福祉協議会） 松澤明美（多摩区民生委員児童委員協議会） 松本英嗣（多摩区町会連合会）
	多摩区地域包括ケアシステム推進本部幹事会・ 多摩区支え合いのまちづくり推進会議 事務局	藤井智弘（多摩区長） 町田昭一（危機管理担当課長） 鈴木智晴（総務課長） 相原剛史（企画課長） 上野進（地域振興課長） 柏原美由紀（生涯学習支援課長） 渡辺陽一（区民課長） 石渡慎也（保険年金課長） 吉澤朋充（生田出張所長） 大田祈子（児童家庭課長） 荒木啓介（高齢・障害課長） 徳丸千大（保護第2課長） 小倉充子（衛生課長） 大谷里美（保育所等・地域連携担当課長） 小川幸（学校・地域連携担当課長） 井野康信（道路公園センター担当課長〔管理〕）	武田克巳（地域みまもり支援センター所長） 浅見政俊（地域みまもり支援センター副所長） 中山礼子（地域ケア推進課長） 曾我利江（地域支援課長） 池田奈津恵（地域支援課地区支援第1係長） 林史大（地域ケア推進課企画調整係長） 杉本光一郎（地域ケア推進課企画調整担当係長） 高橋公（地域ケア推進課企画調整係）
欠席委員	小川町子（多摩区食生活改善推進員連絡協議会） 奥沢邦雄（中野島地区社会福祉協議会） 山岸勝子（多摩区老人クラブ連合会）		
議事	(1) 第7期多摩区地域福祉計画 計画策定スケジュール及び体系について (2) 第7期多摩区地域福祉計画目次（案）及びレイアウトイメージについて (3) 第7期多摩区地域福祉計画 骨子案について		

傍聴人の数	なし
配付資料	<p>[配布資料]</p> <p>資料 1…第7期多摩区地域福祉計画 計画策定スケジュール</p> <p>資料 2…第7期多摩区地域福祉計画 計画の体系（案）</p> <p>資料 3－1…第7期多摩区地域福祉計画 目次（案）</p> <p>資料 3－2…第7期多摩区地域福祉計画 レイアウトイメージ</p> <p>資料 4…第7期多摩区地域福祉計画 骨子（案）</p> <p>参考資料1…名簿</p> <p>参考資料2…令和5年度第1回多摩区支え合いのまちづくり推進会議 会議録</p> <p>参考資料3…意見集約シート</p> <p>[冊子資料]</p> <p>第6期多摩区地域福祉計画</p> <p>[封筒資料]</p> <p>令和5年度第3回多摩区支え合いのまちづくり推進会議関係資料一式</p>

議事要旨

発言者	発言要旨
事務局（中山課長）	次第1（開会）
	（会議録作成のため録音の承認）
藤井区長	次第2（挨拶）
事務局（中山課長）	・配布資料の確認 ・座長を和委員にお願いしたい旨提案→承認
和委員	御承認いただきました田園調布学園大学、和と申します、よろしくお願ひいたします。 それでは次第に従ひ議事を進行する。 議事（1）について 事務局から説明をお願いする。
事務局（林課長補佐）	次第3（議事）
	（1）第7期多摩区地域福祉計画 計画策定スケジュール及び体系について 資料1・2の説明
和委員	続いて（2）第7期多摩区地域福祉計画目次（案）及びレイアウトイメージについて 事務局から説明をお願いする。
事務局（杉本係長）	次第3（議事）
	（2）第7期多摩区地域福祉計画目次（案）及びレイアウトイメージについて 資料3-1・3-2の説明
和委員	続いて（3）第7期多摩区地域福祉計画 骨子案について 事務局から説明をお願いする。
事務局（杉本係長）	次第3（議事）
	（3）第7期多摩区地域福祉計画 骨子案について 資料4の説明
和委員	事務局から、議事（1）、（2）、（3）と連続して報告いただいたが、まず（1）と（2）について御意見、御質問を頂きたいので、今一度資料を御一緒に確認したいと思う。 資料3-1を御覧いただくとレイアウト、順番がガラッと変わる。 まず、「第7期多摩区地域福祉計画」と漢字が並んでいると誰も読まなそうなところを、少し柔らかく「たまくの計画」という名称にしている。横浜市ではどの計画も愛称で呼んでおり馴染みやすい仕掛けをしている。事務局からの馴染みやすい名称はどうかという提案である。 並びも川崎市全体の計画を最後の方に持っていき、初めに多摩区の計画を記載している。続く「その2 たまくを知る」で計画を立てる上でのエビデンスを記載し、資料3-2の4ページのように、吹き出しでポイントが書かれているため、グラフをじっと見なくてもポイントがつかめるレイアウトを提案していただいた。

発言者	発言要旨
	第7期計画から取っつき易く、興味を持ってもらえるような見せ方、並べ方に工夫した提案であるが、これについて御提案、御意見をいただきたい。
有北委員	レイアウトについては第6期よりいいかと思うが、まだ堅いイメージがある。横浜市のように計画に愛称を付けるものいいと思う。それからキャラクターがあるといいかと思う。「たまたま子育てまつり」で長年使われている「まーるちゃん」を使ってみるとか、計画に愛称を付けるなら「たまーるプラン」とか、もう少し印象に残る愛称を付けてもいいかと思った。
和委員	キャラクターや愛称は良いかもしれない。
有北委員	「たまたま子育てまつり」を始める際に区民から募集し、投票で決まった経過がある。区民もチラシを見ると「たまたま子育てまつり」だとイメージがつながっているのではないかと思う。
和委員	区民の投票というのは良い。恐らく、多摩区の地域福祉計画にまったく興味がない方が多いと思うが、キャラクターをきっかけに計画を知っていただければと思う。
岩田委員	目次（案）を見ていたが、全体的に資料としては網羅されているが「その2 たまくを知る」の統計データで人口、高齢者の暮らし、子ども・子育て世代の暮らしと書いてあるが障害者が一言もない。そうすると障害のある方、興味のある方がたどり着かないため文言を入れてほしい。 資料3-2の中に統計データが出ているが、ここに障害の資料は載せる予定はあるか。
事務局（林課長補佐）	今回資料でお示ししているのは掲載イメージのため、一部のデータのみ載せている。今後、素案、計画案と作成していく際にはすべてのデータを掲載する予定である。
岸委員	「たまく」とあえて平仮名にしているのか。
事務局（林課長補佐）	現在の第6期計画に堅いイメージがあるので、少しでも皆さんに読んでいただけるように柔らかい表現にさせていただいている。
岸委員	かえって読みにくいかと。
事務局（中山課長）	事前の案として多摩区の「区」だけを漢字にするなど、いくつかのパターンを事務局でも考えていたが、今回は平仮名3文字でお示しし、委員の皆さまから御意見を頂ければと思う。
岸委員	せめて「区」は漢字の方が良い気がする。

発言者	発言要旨
有北委員	<p>違和感も大事だと思う。違和感は目を引くので、目を引くためにあえて「区」を平仮名にするとか、片仮名にしてしまうとか。そういう目的があればそのような使い方も良いかと思うが、一般的には「区」は漢字の方がわかりやすいという御意見が多いかと思う。</p> <p>ネットで多摩と調べると川崎市多摩区ではなく、東京都多摩市が表示される。そのイメージをどう変えていくかという戦略も必要かと思う。</p>
和委員	<p>岸委員からもあったように、目次であることも少し加味する必要があるかもしれない。目次の役割としてコンセプト等を書くということもあるので、それも併せて検討できたらと思う。</p> <p>第7期計画が出来るまでにキャラクターや愛称の区民公募はスケジュール的に厳しいかもしれないが、出来るところまで進められたらと思う。</p>
和委員	<p>続いて、事務局の報告で一番時間をかけた骨子案、基本方針について、資料4をお手元に御用意いただきたい。</p> <p>この示し方は今までにない斬新なもので、左からエビデンスとなる区民意識調査、この懇談会や他のヒアリング、統計データがあり、それに基づいて基本目標があり、さらに新しい出し方として3年後を見据えた目指す姿、それに向けた基本方針と具体的な取組内容という形で、見開きでお示ししたのは初めてである。</p> <p>皆さまの様々な御活動を通して、基本目標や基本方針、具体的な取組について御意見をいただきたい。</p>
有北委員	<p>前回欠席のため意見を出す機会を逸してしまっただが、皆さまのお手元に私の意見をまとめた3ページのレジュメをお配りした。</p>
和委員	<p>有北委員の御提案の内容は、例えば資料4の具体的な取組内容の一番下の「公園・街路樹等の愛護活動支援」で緑化の活動に関わってくるものであり、次のページのエビデンスの「地域の交流・多世代交流の減少」や「『農』と福祉の連携」などあらゆるところにつながる御提案なので、この件は後半に持っていきたいと思う。</p>
岩田委員	<p>調査結果の記号（□、△、○）が初めて見る方には評価につながる印象を持つ方もいるかもしれない。変えた方が印象は良いのではないか。</p>
和委員	<p>確かにそういう印象はする。これは要検討である。</p>
岩田委員	<p>もう一つ、基本方針1-3の高齢者・障害者の具体的な取組内容に患者とあるが、どういった方を指しているのか。</p>
幹事会（荒木課長）	<p>患者グループなど昔から使っている言葉があるため入りこんだかもしれないが、最近では「当事者」という方がしっくりくると思うので修正したい。</p>
和委員	<p>その辺りのワーディングは大事だと思う。</p>
松本委員	<p>第6期と比較すると、具体的に突っ込んだ内容になっているという印象があるが、3年後を見据えた姿のために我々が努力していかなければならないと思うし、</p>

発言者	発言要旨
	どうPRするかも問題かと思う。
和委員	PRについて、前回の会議でも講演やイベントを若い方たちとなさっていると伺っている。
松本委員	当事者がそれぞれ該当する箇所のページをめくるだろうが、計画書を回覧するわけにはいかないので、簡略版を作り入口を広めれば良いと思う。
和委員	概要版は毎回作っているのか。
事務局（林課長補佐）	第6期計画においても概要版を作成しており、第7期計画でも概要版を作成する予定である。
和委員	他区では動画を作成している。皆さまに届きやすいものが何なのかアイデアをいただきながら出来たらと思う。
岸委員	調査結果と具体的な取組内容の第7期で新たに位置づける取組の両方に黒塗りの星が使われているので、二重丸などに変えたほうが良い。
和委員	<p>発信方法について、資料4の基本方針1-1「理解と共感を広げる情報発信と場の創出」が重点項目としてあり、具体的な取組内容の地域・防災・暮らしに「子ども版地ケアTAMA」があるが、子どもが手に取るのはハードルがあるので、各小学校の読み聞かせボランティアによる紙芝居の読み聞かせに加えるのもありかと思う。子どもから親に話が広がっていくと良いなと思う。</p> <p>新たな取組として例えば「Anker フロントウン生田」が出来たが、いろいろな可能性があり連携もすることになっており、多摩区民として期待する拠点となると思っている。</p>
有北委員	<p>フロントウン生田は基本的にスポーツ施設だが『「Anker フロントウン生田」と連携したスポーツ事業』と書いてしまうと、スポーツしか連携しないという印象になってしまうため、スポーツと限定した書き方にしないほうが良いと思う。</p> <p>また、基本方針3-1の具体的な取組内容に「新生児訪問・こんにちは赤ちゃん訪問」と「子ども・子育て相談」が今まで入っていなかったことに驚いた。</p>
和委員	<p>「Anker フロントウン生田」に関してはスポーツ事業だけではないので、スポーツ事業等などと書く必要がありそうである。</p> <p>私が以前から気になっていて発言もさせていただいているが、基本目標2の「3年後を見据えて目指す多摩区の姿」に、ゆるやかな関係づくりとあるが、都市部である多摩区においてゆるやかな関係づくりは非常に重要である。</p> <p>自殺率が一番低い徳島県の旧海部町の研究成果では、港町で昔から交流があるという前提はあるが、普段は挨拶程度でいざ助け合う必要がある時は助け合う関係の方が良いと言われている。</p> <p>川崎市は移住者が多く、人の交流も多いのでマインドはオープンな感じがあり、都市部でもあるので緩やかなつながりをどう作っていくかが、住みやすさにつな</p>

発言者	発言要旨
	<p>がっていく。資料3-2の6ページの近所付き合いの程度の調査結果でも、7割強が都市型の緩やかなつながりとなっており、続く近所付き合いの必要性の調査結果を見ると半数以上の方が、助け合いが必要であると感じていることから、多摩区の特徴である柔軟性のある付き合い方がされているという多摩区らしいエビデンスを踏まえ、基本目標2につなげるという理解をする必要があると思っている。</p> <p>冒頭、区長が孤独、孤立が問題と仰っていて、「孤立」は状態であり、「孤独」は感情である。一人暮らしの方よりも、家族と生活している高齢者の方が孤独感が高まると研究成果で言われているが、孤独の状態が続いていると様々な福祉的課題につながっていくため、「孤独」と「孤立」を明確に分けながら文言を書く必要がある。一方で、高齢者には孤立を求めていく方も一定程度いらっしゃるため、その方々にも配慮は必要と感じるが、多摩区は都市部であることを意識した書きぶりがなされている点の評価したい。</p> <p>町内会・自治会の問題に関心がないということがあるが、私は活動を通じて挨拶する方が増えたのが嬉しかった。木澤委員には以前、挨拶運動の話をしていただいたが現状はいかがでしょうか。</p>
木澤委員	<p>1年半前から同じ場所で学校がある日の毎朝に立っているが、最初の頃は挨拶が出来る人は少なかったが、1年半続けると挨拶を返してくれる人が多くなり、一言程度の会話を交わす人も増えてきており、声掛けは良いことだと思う。</p>
和委員	<p>地域で挨拶が出来る人が増えるだけでも、安心、安全な地域になってきている気がする。</p> <p>続いて、有北委員のレジュメについてポイントをかいつまんで御説明いただきたい。</p>
有北委員	<p>下線部と太字の部分を中心に見ていただきたい。</p> <p>骨子案において「農と福祉の連携」を前々回の会議で私が出したが、その出口をもう少し広げることが出来ないかと、コミュニティガーデンを調べた。</p> <p>先日、地域デザイン会議においても公園緑地を支える担い手不足、高齢化の問題が出ており、どこも課題は同じにも関わらず行政は縦割りで、横串がないのは何故かと思っていたところ、農と福祉、緑と福祉の観点から進めてコミュニティガーデンに行き着いた。</p> <p>1970年代にアメリカで始まったとされ、個人に貸し出す市民農園ではなく、野菜や花を地域住民で育てる共有地である。1997年には宮前区に宮崎ガーデニング倶楽部が設立され、早くから行われている。</p> <p>定義には地域社会や地球環境に良いことが含まれており、実施にあたっては市有地や民有地を借りるが、行政との協働のため補助金や助成金を用いてインフラ整備を行い、市民が地域ごとに協議しながら運営している。</p> <p>また、ニュージーランドのコミュニティガーデンは、型にはまらない柔軟性の</p>

発言者	発言要旨
	<p>ある運営がなされており、収穫物は作業者以外でも自由に持ち帰ることができ、貧困対策にもなるのではないかと思う。</p> <p>レジュメの最後に「多摩区のコミュニティガーデン」として私がまとめてきた。地域福祉計画を策定しても実際の活動に結びつかない面があったが、区民会議では提案が行動計画になり、公園を中心としたコミュニティづくりや子どもの外遊び委員会が生まれ、市民が活動する現場につながっている。地域福祉計画の中でコミュニティガーデンを一つの横串として立ち上げ、一つの大きなテーマとして行動計画に結び付け、コミュニティガーデンを軸に、町会や自治会などの関係者、多世代がつながれる、核となる活動を作ることがあってもいいと思う。</p> <p>モデルケースから各地域へ広げ、緑を通じ自然と地域の中でコミュニケーションや、より深い助けあいができるのではないかと思い提案した。</p>
和委員	<p>コミュニティガーデンは私も地域福祉の1つのテーマとして取り組んでおり、提案の意図は理解できるし、川崎市制100周年を迎えるにあたって多摩区では生田緑地を拠点として緑化フェアを実施することになっており、それをきっかけとして有北委員がおっしゃったことにも取り組む流れになっている。</p> <p>地ケアTAMAで私の住む町会のガーデニングを取り上げていただいたように、コミュニティや福祉の課題解決へのつながりを感じながら町会活動をさせていただいており、緑化フェアでも奉仕させていただくことになっている。</p> <p>緑化フェアも取組につながる一つのきっかけになればいいと思っている。この計画でも緑化フェアを書きつつ、各町会でも花壇活動を始めているので、コミュニティガーデンにつながるコラムが載せられたらと思う。</p> <p>今回であれば、基本方針1-3「公園・街路樹等の愛護活動支援」に含まれてくるかと思う。</p> <p>もし、皆さま方の活動で載せてほしい取組があれば出してほしい。</p>
有北委員	<p>川崎市の社会教育委員を10年間務めてきたが、川崎市の市民館は人口16~20万人に一つしかなく、分館を含めても川崎市には154万人に対して13館と地域の核になる場所としては少ない。</p> <p>これについても長年提案を出してきたが、川崎市にはこども文化センターやいこいの家が中学校区に一つあり、積極的活用を提言しているがなかなか進まない。こども文化センターの昼間の時間帯は大人も活用可能となっており、地域交流の場となるような仕様となってきたので、この地域福祉計画でも積極的に利用できるようにしたらいいのではないかと。いこいの家との交流も集わない方や子どもとの交流が進んでいない。同じ建物にあるにも関わらず、何十年も交流が進んでいない、活用が出来ていないことは大きな課題である。積極的に活用する案が出ず、世代間分断の場のまま老朽化するのはまずいのではないかと切実に思う。</p>
和委員	基本方針3-2の連携のところに入れていいのだろうか。

発言者	発言要旨
大津委員	<p>障害者と書く際に、「害」は平仮名に。小・中学校でも話題に出ているので、その辺りをよくお考えの上でお願いしたい。</p> <p>もう一つ、町内会と町会の記載についても平仄の統一をお願いしたい。</p>
和委員	<p>しっかりと検討したいと思う。</p>
和委員	<p>以上をもって議事を終了する。進行を事務局へお渡しする。</p>
事務局（中山課長）	<p>和委員、議事の進行ありがとうございました。それでは閉会にあたり、地域みまもり支援センター所長の武田から御挨拶を申し上げたい。</p>
武田所長	<p>有北委員からありました、こども文化センターといこいの家について、過去に両施設の所管を経験したが、いこいの家とこども文化センターの交流については双方が指定管理で運営されており、指定管理者募集の仕様書に併設している施設は交流をするようにとの記載があり、いこいの家とこども文化センターだけではなく地域の保育園との交流も含まれているが、このような御意見が出るということは、それが知られていないという問題があると痛感した。</p> <p>地域福祉計画は皆さまが住まう多摩区の計画であることから、より身近に感じられる計画にしたい。今後2回の会議でも皆さまの御意見をいただきたいと思っている。</p>
事務局（中山課長）	<p>以上をもちまして令和5年度第2回支え合いのまちづくり推進会議を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。</p>